

令和元年度労働安全表彰事業場について

令和元年度労働安全表彰事業場に、以下の31社・事業場（工場、製造所、事業所）を安全委員会として推薦し、第273回理事会において決定致しました（詳細は別紙一覧を参照）。  
なお、表彰は5月27日（水）の第40回定時総会で行われます。

記

1. 特別優良賞 20社・事業場

（構内協力会社災害実績を含む）

詳細は別紙「令和元年度労働安全表彰事業場一覧 特別優良賞」参照

規模区分（従業員、期間）	会社・事業場数	参考（平成30年度）
A（700人以上、1年間）	2	2
B（300人以上700人未満、2年間）	3	6
C（100人以上300人未満、3年間）	5	5
D（100人未満、4年間）	10	10
計	20	23

2. 優良賞 11社・事業場

（構内協力会社災害実績を含まず）

詳細は別紙「令和元年度労働安全表彰事業場一覧 優良賞」参照

規模区分（従業員、期間）	会社・事業場数	参考（平成30年度）
A（700人以上、1年間）	1	該当なし
B（300人以上700人未満、2年間）	3	2
C（100人以上300人未満、3年間）	4	2
D（100人未満、4年間）	3	1
計	11	5

以 上

# 令和元年度労働安全表彰事業場一覧

一般社団法人 日本アルミニウム協会  
安 全 委 員 会

## 特別優良賞

表彰の条件: 所定の期間、①、②、③の全てを満たすこと。

- ①休業および不休業災害がゼロである事
- ②労働安全衛生規則第96条(火災&爆発)の届出事故が無い事
- ③構内協力会社も休業及び不休業災害がゼロである事

規模区分→表彰条件(期間: 暦年)	安全表彰推薦社名及び事業場名	受賞回数	
		特別優良賞	優良賞
Aグループ 30年12月末平均在籍従業員数 700人以上 →1年間	株式会社新日軽北陸 小矢部工場	7回目	6回
	YKK AP株式会社 黒部製造所	4回目	1回
Bグループ 30年12月末平均在籍従業員数 300人以上 ~ 700人未満 →2年間(平成29~30年)	昭和電工株式会社 小山事業所	4回目	5回
	YKK AP株式会社 黒部越湖製造所	3回目	
	株式会社 LIXIL 名張工場	3回目	1回
Cグループ 30年12月末平均在籍従業員数 100人以上 ~ 300人未満 →3年間(平成28~30年)	本多金属工業株式会社 恵那工場	3回目	1回
	株式会社UACJ鑄鍛	5回目	
	東洋アルミニウム株式会社 群馬製造所	4回目	6回
	株式会社UACJ押出加工群馬	6回目	1回
	株式会社UACJ製箔 野木製造所	初受賞	
Dグループ 29年12月末平均在籍従業員数 100人未満 →4年間(平成27~30年)	日本圧延工業株式会社	3回目	1回
	昭和アルミニウム缶株式会社 大牟田工場	10回目	1回
	株式会社UACJ 日光製造所	2回目	3回
	三協立山株式会社 氷見工場	5回目	4回
	株式会社UACJカラーアルミ	初受賞	
	東洋アルミニウム株式会社 新庄製造所(御所)	7回目	
	株式会社アルミネ 川上東工場	3回目	
	新豆陽金属工業株式会社 川西工場	16回目	
	アルメタックス株式会社 栗東資源環境センター	4回目	
	昭和電工アルミ販売株式会社 紀の川工場	2回目	

## 優良賞

①休業および不休業災害がゼロである事

規模区分→表彰条件(期間: 暦年)	安全表彰推薦社名及び事業場名	受賞回数	
		特別優良賞	優良賞
Aグループ 30年12月末平均在籍従業員数 700人以上 →1年間	YKK AP株式会社 黒部荻生製造所	5回	2回目
Bグループ 30年12月末平均在籍従業員数 300人以上 ~ 700人未満 →2年間(平成29~30年)	株式会社 LIXIL 土浦工場	5回	5回目
	株式会社神戸製鋼所 大安製造所	2回	4回目
	株式会社 LIXIL 岩井工場	2回	5回目
Cグループ 30年12月末平均在籍従業員数 100人以上 ~ 300人未満 →3年間(平成28~30年)	YKK AP株式会社 埼玉工場		初受賞
	東洋アルミニウム株式会社 新庄製造所	4回	14回目
	株式会社神戸製鋼所 長府製造所		15回目
	不二サッシ株式会社 千葉工場		4回目
Dグループ 30年12月末平均在籍従業員数 100人未満 →4年間(平成27~30年)	三協立山株式会社 福岡西工場	3回	初受賞
	株式会社片木アルミニウム製作所 大山工場	5回	7回目
	アルメタックス株式会社 静岡工場	7回	初受賞

## 安全表彰事業場数の推移(暦年集計)

優良賞は、休業、不休業災害がゼロの優れた安全成績を達成した事業場に対し表彰を行う。

特別優良賞は、上記に加え、協力会社も休業及び不休業災害がゼロ、かつ労働安全衛生規則第96条(爆発及び火災)による届出事故がないこと

事業場規模区分	平成26年度			平成27年度			平成28年度			平成29年度			平成30年度			令和元年度		
	特別優良	優良	合計	特別優良	優良	合計	特別優良	優良	合計	特別優良	優良	合計	特別優良	優良	合計	特別優良	優良	合計
Aグループ 700人以上	1	0	1	3	0	3	1	1	2	0	0	0	2	0	2	2	1	3
Bグループ 300人以上 700人未満	1	0	1	1	2	3	3	4	7	6	2	8	6	2	8	3	3	6
Cグループ 100人以上 300人未満	5	2	7	8	1	9	9	0	9	7	1	8	5	2	7	5	5	10
Dグループ 100人未満	8	2	10	9	2	11	10	0	10	10	2	12	10	1	11	10	2	12
合計	15	4	19	21	5	26	23	5	28	23	5	28	23	5	28	20	11	31

### <参考>安全成績の推移

平成	26年	27年	28年	29年	30年	令和元年	令和元年目標値	2年目標値	用語の定義
休業度数率	0.51	0.53	0.52	0.60	0.47	0.59	0.49	0.49	100万延べ実労働時間当たりの労災による死傷者数
総合度数率	1.80	1.93	1.70	1.93	1.79	1.73	1.70	1.70	(総合には不休業を含む)
強度率 (死亡災害者数)	0.14 (1)	0.02 (0)	0.03 (0)	0.03 (0)	0.13 (1)	0.03 (0)	0.02 (0)	0.02 (0)	1,000延べ実労働時間当たりの労働損失日数

